

## 2021年度 理事長所信

公益社団法人二本松青年会議所

第48代理事長 岡 藤浩

### 【はじめに】

1982年9月15日二本松に1人の男の子が産まれた。3人目の子となる少年は末っ子長男としこの世に生を受け祝いの花火があがった。少年は小学生となり青年会議所の存在を知り、遅くに帰宅する父に憤りを感じていた。月日は流れ、ボランティア感覚で青年会議所に入ることを決意した。先輩方から当時の父親の話聞き、青年会議所に対する見方が変わった。入会から10年、親子2代2人目の二本松青年会議所理事長となり、持続可能な二本松を創造する。

### 【コロナ禍での青年会議所運動】

感染が拡大している新型コロナウイルスは世界中の人々の脅威となっています。緊急事態宣言による外出の自粛や営業の休止により経済は冷え込み、2020年4月～6月期のGDPは年率27.8%減と戦後最悪のマイナス成長に沈んでしまいました。2021年もコロナウイルスとの共存する生活は続きます。我々は、未曾有の大震災を経験し耐えた経験があります。日々変わる制限とルールを守り、持続可能な二本松のために、人の考えや行動を変えていく青年会議所運動を進めます。

### 【二本松のSDGsの推進拡大】

2019年日本青年会議所はSDGsを一番推進する団体として行動して参りました。継続してSDGsの推進を福島ブロック協議会もおこなっていますが認知度は33%というのが現状です。何もしないままだと持続不能の世界が訪れます。それを少しでも改善するためにSDGsがあります。17のゴール・169のターゲットから構成される「誰ひとり取り残さない」持続可能な「まち」を創っていくために二本松のSDGs推進に力を入れます。

### 【会員の増強】

会員を増やすにはまず自分たちの意識を変えなくてはなりません。年会費12万円は現金として安いとは言えません。しかし12万円の価値、またはそれ以上の価値を得る事は可能です。青年会議所では例会やセミナー、議案書の作成など自分自身の能力向上の機会がたくさんあります。また、多くの先輩や異業種の方々とのネットワークを築く機会もあります。青年会議所は能力・人脈・実績を得られる団体です。一人ひとりが青年会議所の価値を理解し、二本松がよりよくなるために二本松青年会議所の灯を消さないよう努めます。

### 【二本松少年隊の顕彰と命の尊厳】

二本松少年隊の行動は、郷土愛による典型的な発露であったのではないだろうか。現在、子どもを戦場にだすことなんて考えられません。当時の封建体制下ではしかたがなかったという時代です。二本松少年隊の史実を伝えるために、二本松少年隊顕彰授業を開催し、二本松少年隊の悲劇について二本松少年隊を顕彰する団体として同年代の子どもたちに伝えるとともに、命の大切さを伝えます。

### 【2022年第52回ブロック大会 in 二本松に向けて】

2020年にブロック大会に立候補し、2022年7月に二本松でブロック大会が開催されます。段取り八分という言葉があり、より良いブロック大会の構築のためには2021年から準備を行っていかねばなりません。ブロック大会は、市内外の方々に青年会議の存在を発信する絶好の機会です。来ていただいた方々に何をもち帰ってもらいたいのかを考える土台を創り、2022年に最良の状態で繋がります。

### 【福幸祭について】

新型コロナウイルスの影響で2020年さまざまな事業が中止を余儀なくされました。政府は、最大5000人の人数制限・感染防止対策をガイドラインに従えば、事業を行っても良いという見解を示しています。感染対策をしたうえで、前向きな行動や新たな気づきを感じていただくために、福幸祭を開催し、新たな価値を創造する場とします。そして、コロナウイルスの一日も早い終息と福島を幸せを願い、1人でも多くの方に笑顔になっていただくために、鎮魂や復興を願う花火を打ち上げます。

### 【震災から10年持続可能な未来へ】

東日本大震災から10年の年月が経ち、ふくしまは、現在も原発事故の処理作業を行っており、汚染水も発生し続けています。多くの命を奪った東日本大震災を風化させないために次の世代に伝えていく場が必要です。二本松の未来の光を照らす礎を築く事業をにほんまつDMOと協力し開催します。

### 【おわりに】

東北JC宣言文に、新たな価値を創造する旗手としてという一文があります。JCは自分の存在価値を上げるのに最適な団体です。自分に妥協せず活動すれば必ず成長がついてきます。お金では買えない価値がJCには存在し、それをどう活かすかが重要です。お金を稼ぐ方法はたくさんあります。ただ、どのくらいお金が必要なのかを考えましょう。そのためには何をしなければならぬのか。どうしたらそこに辿り着くのか。行動を起こすことには必ず意味があります。JCの考え方はそのことを教えてくれる教科書であり、駄目ならやり直せば良いのです。人生楽しく生きていくためにJCをやりましょう。

<p>現状分析</p>	<p>現在、全国的に少子高齢が社会的な問題となっています。その影響を受け、二本松においても我々青年会議所の会員減少が深刻化しています。会員の減少により活動の負担が増加し、事業構築にも影響をもたらしているため会員拡大が急務となります。また、青年会議所が推進しているSDGsも市民には十分に周知されていないのが現状です。多くの市民にSDGsを知ってもらい、持続可能な社会を実現するために、会員・市民共に学ぶ機会が必要だと思えます。</p> <p>さらに、2020年世界的に大流行した新型コロナウイルスの影響により、経済等、多方面で深刻な状況にあります。様々な業種で連携を図り、この深刻な事態を乗り切っていくために、異業種間で更なる連携強化が必要だと思えます。</p> <p>また、新型コロナウイルスについての情報や感染の拡大を防止する方法についての情報は多く流れていますが、今後、我々を取り巻く社会環境が変化していくことに対応するために、事前に関わりつつある現状を学んでおく機会が必要になります。</p> <p>さらに、会員の活動においては多くの方々の支えを受けています。その中でも一番身近である家族との絆を深める機会が必要です。</p>
<p>目指すべき目的</p>	<p>①会員拡大 ・会員数を増やし、多彩な事業構築や会員の負担軽減に繋がります。</p> <p>②SDGsの推進 ・市民にSDGsを実践してもらうための知識を学んでもらいます。</p> <p>③異業種交流会の開催 ・異業種間での連携を密にし、各自の事業に活かしてもらいます。</p> <p>④新型コロナウイルスについての例会の開催 ・新型コロナウイルスに対する社会の変化を知り、今後の生活や活動に知識を活かしてもらいます。</p> <p>⑤家族例会の開催 ・家族との絆を再認識し、青年会議所の運動・活動を理解してもらいます。</p>
<p>概要</p>	<p>①会員拡大 ・会員の減少による会員の負担の軽減、予算の確保、より良い事業構築を進めていくため、また、二本松青年会議所を支えていく会員を早期に確保するために、年間を通しての会員拡大を行います。</p> <p>②SDGsの推進 ・持続可能な社会を創り上げていくためにSDGsの推進が必要ですが、まだまだ一般には周知されていないのが現状であるため、多くの市民にSDGsを知ってもらい、できることから実践してもらうために推進活動をしていきます。</p> <p>③異業種交流会の開催 ・会員が他団体の方々と連携して運動・活動し、または仕事においても連携をしていくために重要となる人脈構築や、日頃より交流のある方々との情報交換の機会が</p>

	<p>必要であると考え、異業種間の交流によって会員に他団体との連携推進の機会を持ってもらいます。</p> <p>④コロナウイルスについての例会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスについて、今後想定される社会の変化や、変わりつつある現状を知ることによって今後の青年会議所が行っていくべき運動の方向性や、個人の活動や生活においての変化に対応できるための知識を学んでもらいます。</li> </ul> <p>⑤家族例会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃より会員の活動を支えてくれる家族へ感謝の気持ちを伝えるとともに、今後の活動についての理解と協力をお願いする機会を設けるために開催します。</li> </ul>
SDG s	【 4、8、12、16、17 】
事業手法	<p>①会員拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問等は理事長を中心とした上役の方々に中心となって行っていただきますが、我々の委員会で必要に応じてサポートを行い、情報交換等の連携を密にしながら会員拡大を進めていきます。</li> </ul> <p>②SDG sの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDG sに詳しい方に講師をお願いして講演していただきます。市民に周知してもらうために、対外に講演をPRし、参加していただいた方が、今後の生活の中でそれぞれSDG sに関連する項目を実践してもらえようような講演を実施します。</li> </ul> <p>③異業種交流会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な業種や団体の方々がお集まり、話をしながら交流していただく形で開催し、様々な業種間での交流を通して、青年会議所での活動や、各自の事業等に活かしてもらい、団体間での情報共有にも繋がります。</li> </ul> <p>④コロナウイルスについての例会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスにおける現状や今後の社会環境の変化を見据えた内容の例会を行います。多角的な視点からコロナ禍を捉え、生活や仕事に活かせる内容を中心とした知識を会員に学んでもらいます。</li> </ul> <p>⑤家族例会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響が一旦収束しているのであれば、家族で楽しめる施設等に出掛けて、家族の絆を深めてもらいながら会員とも交流してもらいます。</li> </ul>
パートナー	<p>二本松市産業部、二本松商工会議所、あだたら商工会、福島ブロック協議会</p>

公益社団法人二本松青年会議所 2021年度 価値推進委員会予算書 内訳表  
2021年1月1日より2021年12月31日まで

事業名 科目名	公益事業		その他の事業		
	1	小計	1	2	小計
	5月 SDGs 公開例会		2月例会	8月 家族例会	
④事業収益	40,000	40,000	0	10,000	10,000
事業繰入収益	40,000	40,000		10,000	10,000
登録料収益		0			0
懇親会費収益		0			0
広告料収益		0			0
販売収益		0			0
預り金収益		0			0
雑収益		0			0
⑤受取補助金等	0	0	0	0	0
国庫補助金		0			0
地方公共団体補助金		0			0
県サポート事業補助金		0			0
OB会補助金		0			0
二本松少年隊顕彰会補助金		0			0
補助金等交付業務受託金		0			0
国庫助成金		0			0
地方公共団体助成金		0			0
民間助成金		0			0
⑥受取負担金	0	0	0	0	0
受取負担金		0			0
⑦受取寄付金	0	0	0	0	0
受取寄付金		0			0
受取募金		0			0
⑧雑収益	0	0	0	0	0
受取利息収益		0			0
その他雑収益		0			0
經常収益計	40,000	40,000	0	10,000	10,000
(2) 經常費用					
①事業費	40,000	40,000	0	10,000	10,000
事業費	39,430	39,430	0	9,550	9,550
事業費繰入金		0			0
会場設営費	8,000	8,000			0
企画・演出費		0		9,000	9,000
本部団設営費		0			0
講師関係費	30,000	30,000			0
広報費		0			0
資料作成費		0			0
報告書作成費		0			0
懇親会費		0			0
渉外費		0			0
旅費交通費		0			0
参加記念品代		0			0
保険料		0			0
通信費		0			0
販売物品仕入		0			0
預り金		0			0
雑費	1,430	1,430		550	550
委員会運営費		0			0
事業予備費	570	570		450	450
収支差額	0	0	0	0	0

<p>現状分析</p>	<p>近年、SNSを使用した子どもたちのいじめによる自殺などのニュースが多くみられるようになりました。また、新型コロナウイルスの影響でSNSが新しい生活様式に活用されるツールとして注目されつつありますが使用方法によっては新たないじめなどが起こりかねません。これらの課題を深く知り未然に防げるような知識が必要と考えます。さらに、現在も二本松市内の人口は減少を続けています。人口の流失を防ぎつつ、同時に子どもたちの郷土を愛する心を育む必要があります。以前に顕彰事業後にアンケートに「いじめられています」などのSOSがあり、実際に二本松の子どもたちの周りでも起こっています。</p> <p>この様な問題に加えコロナ禍の中、目まぐるしく変わる情勢に即座に対応し、子どもたちの明るい未来ため運動を展開していく必要があると考えます。</p>
<p>目指すべき目的</p>	<p>① SNSといじめ、自殺をしようとする子供達の心を学び今後子供たちへ向けた事業に役立てる。</p> <p>② 二本松少年隊の顕彰を通して郷土愛と子供たちの心を育み命の大切さを教える。</p> <p>③ 今後の青少年事業を見据えた例会の実施</p> <p>④ 二本松少年隊隊士の慰霊と鎮魂を込めて市内の隊士の墓所を清掃します。</p>
<p>概要</p>	<p>① SNSといじめについて学ぶ例会の実施</p> <p>例会を実施しSNSといじめと自殺の現状を知り自殺をしようとする子どもたちの心を学びます。</p> <p>② 二本松顕彰授業の実施</p> <p>5月から6月の間に二本松市内の小学校16校の高学年の学生を対象に二本松少年隊の顕彰授業を行い、子どもたちに郷土愛と命の大切さを伝えます。</p> <p>③ 今後の青少年事業を見据えた例会の実施</p> <p>コロナ禍の影響で以前のような青少年事業の開催が難しい状況ですが、新しい生活様式を取り入れた子どもたちに必要な青少年事業の開催を考えていく必要があります。</p> <p>④ 二本松少年隊墓所清掃の実施</p> <p>二本松少年隊隊を顕彰する団体として市内の少年隊の墓所を清掃し、メンバーの意識向上と二本松少年隊へ追悼と敬意を表します。</p>
<p>SDGs</p>	<p>【 2、3、4、17 】</p>
<p>事業手法</p>	<p>① SNSいじめについて学ぶ例会の実施</p> <p>2019年のアワードを獲得した事業を参考にし二本松青年会議所版として委員会で再構築し例会で実施します。</p> <p>② 二本松顕彰授業の実施</p> <p>二本松青年会議所会員が二本松少年隊顕彰授業を行います。授業は2部構成で前半は二本松少年隊顕彰授業をし後半は命の大切さを教える授業を行い、子どもたちの郷土に対する愛郷心を醸成します。</p> <p>③ 今後の青少年事業を見据えた例会の実施</p>

<p>モデル</p>	<p>多くの青少年が使用しているスカイピアあだたら内にあるチャンネルスクエア          ガーデンで、当施設の感染対策を学び、東京五輪の種目でもあるボルダリングを体験          し、コロナ禍の影響で運動不足などの問題を抱える子どもたちに必要な事業の参考に          していきます。</p> <p>④二本松少年隊墓所清掃の実施          二本松少年隊顕彰会の墓前祭の前に市内の少年隊士の墓所や関係各所の清掃をおこな          います。各墓所でのエピソードを話す設えは、コロナ禍の状況に対応したものを          委員会で構築し実践していきます。</p>
<p>パートナー</p>	<p>二本松教育委員会 二本松少年隊顕彰会</p>

公益社団法人二本松青年会議所 2021年度 青少年育成委員会予算書 内訳表  
2021年1月1日より2021年12月31日まで

事業名 科目名	公益事業			その他の事業		
	1	2	小計	1	2	小計
	二本松少年 隊顕彰事業	墓所清掃		3月例会	6月例会	
④事業収益	1,000	1,000	2,000	4,200	4,200	8,400
事業繰入収益	1,000	1,000	2,000	4,200	4,200	8,400
登録料収益			0			0
懇親会費収益			0			0
広告料収益			0			0
販売収益			0			0
預り金収益			0			0
雑収益			0			0
⑤受取補助金等	67,000	14,000	81,000	0	0	0
国庫補助金			0			0
地方公共団体補助金			0			0
県サポート事業補助金			0			0
OB会補助金			0			0
二本松少年隊顕彰会補助金	67,000	14,000	81,000			0
補助金等交付業務受託金			0			0
国庫助成金			0			0
地方公共団体助成金			0			0
民間助成金			0			0
⑥受取負担金	0	0	0	0	0	0
受取負担金			0			0
⑦受取寄付金	0	0	0	0	0	0
受取寄付金			0			0
受取募金			0			0
⑧雑収益	0	0	0	0	0	0
受取利息収益			0			0
その他雑収益			0			0
經常収益計	68,000	15,000	83,000	4,200	4,200	8,400
(2) 經常費用						
①事業費	68,000	15,000	83,000	4,200	4,200	8,400
事業費	65,150	14,800	79,950	4,050	4,050	8,100
事業費繰入金			0			0
会場設営費			0			0
企画・演出費	44,000	14,250	58,250	3,500	3,500	7,000
本部団設営費			0			0
講師関係費			0			0
広報費			0			0
資料作成費	4,240		4,240			0
報告書作成費			0			0
懇親会費			0			0
渉外費			0			0
旅費交通費			0			0
参加記念品代			0			0
保険料			0			0
通信費	360		360			0
販売物品仕入			0			0
預り金			0			0
雑費	16,550	550	17,100	550	550	1,100
委員会運営費			0			0
事業予備費	2,850	200	3,050	150	150	300
収支差額	0	0	0	0	0	0

<p>現状分析</p>	<p>台風災害に続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、世界経済が冷え込み人々が目に見えない恐怖に怯える日々が続いている。二本松青年会議所では、この不景気の中で、持続可能な組織づくりを実行し、会員の活動意欲を向上させる組織運営を図らなければならない。</p>
<p>目指すべき目的</p>	<p>①総会の実施 2020年度の事業報告を受け、2021年度の二本松青年会議所の活動を円滑にし新たな目標を持つことで、JC活動に対する意欲を持っていただきます。</p> <p>②例会の実施 会員の活動意欲を向上し、組織運営の円滑化を図るため。</p> <p>③新年会の開催 会員と特別会員との間で交流する場を提供し、2021年度のJC活動への協力体制の構築を図る。</p> <p>④会員名簿の作成 会員・特別会員間での連絡ツール、また2021年度の活動についての情報を共有する物として、JC活動をする上での協力体制をとれるものとします。</p> <p>⑤ホームページ・SNS等の活用による広報活動 JC活動を地域の方に知ってもらい、協力体制の構築と会員拡大のためのPR活動とします。</p> <p>⑥事務局・財政局のサポート 本年度の執行部としての報告・連絡等を円滑に進められるように補助します。</p> <p>⑦卒業式の開催 卒業者及び支えてくださった会員家族への感謝の気持ちを伝え、これまでの運動を振り返り、その経験や運動に対する想いを共有するため。</p> <p>⑧議事録の作成 県監査を円滑に進行できるように的確な記録をするため。</p>
<p>概要</p>	<p>①総会の実施 1月総会では、昨年の事業報告をし、9月総会では次年度の体制を報告すると共に、総会の円滑な進行と多くの会員の招集を目指します。</p> <p>②例会の実施 会員の資質向上並びに意識向上を図るため例会を開催し、個の力を発揮できるJAYCEEを目指します。</p> <p>③新年会の開催 会員や特別会員と交流する場を提供し、今後の協力体制の構築に努めます。</p> <p>④会員名簿の作成 会員・特別会員間での情報伝達ツールや、2021年度の活動についての情報を共有する物として、JC活動をする上での協力体制をとるツールとします。</p>

	⑤ホームページ・SNS等の活用による広報活動 二本松青年会議所としての活動を市民に向けて情報発信することで、青年会議所としての活動を、より多くの方々に理解してもらいます。
	⑥事務局・財政局のサポート 円滑な組織運営をするために、事務局・財政局のサポートをし、LOM組織を盤石なものにします。
	⑦卒業式の開催 円滑な進行、式典の成功を目指し、諸先輩方に感謝の気持ちを込め送り出します。
	⑧議事録の作成 議論の内容や、決議事項を的確に記入し、情報の報告・共有を行います。
SDGs	【 8、11、15、16、17 】
事業手法	①総会の実施 タイムスケジュール、議事進行を作成し、時間管理を徹底する。事前準備を行い、組織内で、内容の精査を行います。
	②例会の実施 会員との連絡を密にとり、多くの会員に参加を求め、質の高い、例会を目指します。
	③新年会の開催 会員名簿やSNSを利用し、早い段階で連絡・情報共有を行うことで、日程を周知し多くの会員に参加していただきます。
	④会員名簿の作成 会員向けは、データを配布し、予算の削減をします。特別会員には、A5サイズの会員名簿を作成し、尚且つ各委員会の事業計画を記載することによりJC活動への協力体制を構築します。
	⑤ホームページ・SNS等の活用による広報活動 二本松青年会議所での活動や今後の予定を、SNSやホームページを利用し、時代に合った手法で行います。
	⑥事務局・財政局のサポート 事務局・財政局と密に連絡を取り合い、会議の円滑な進行、事前段取りを行います。
	⑦卒業式の開催 卒業者の涙腺を崩壊させる式典を開催します。
	⑧議事録の作成 総務広報委員会及び事務局長と連携し、理事会の議論、決議事項等を、前回の議事録として理事会で承認していただきます。
パートナー	二本松青年会議所OB会

公益社団法人二本松青年会議所 2021年度 総務広報委員会予算書 内訳表  
2021年1月1日より2021年12月31日まで

事業名 科目名	公益事業		その他の事業		小計
	小計	1	2	2	
		会員名簿	7月例会 ブロック大会 に参加しよう!	12月例会 卒業式	
④事業収益	0	3,000	140,000	55,000	198,000
事業繰入収益	0	3,000	20,000	55,000	78,000
登録料収益	0		120,000		120,000
懇親会費収益	0				0
広告料収益	0				0
販売収益	0				0
預り金収益	0				0
雑収益	0				0
⑤受取補助金等	0	50,000	25,000	0	75,000
国庫補助金	0				0
地方公共団体補助金	0				0
県サポート事業補助金	0				0
OB会補助金	0	50,000	25,000		75,000
二本松少年隊顕彰会補助金	0				0
補助金等交付業務受託金	0				0
国庫助成金	0				0
地方公共団体助成金	0				0
民間助成金	0				0
⑥受取負担金	0	0	0	0	0
受取負担金	0				0
⑦受取寄付金	0	0	0	0	0
受取寄付金	0				0
受取募金	0				0
⑧雑収益	0	0	0	0	0
受取利息収益	0				0
その他雑収益	0				0
經常収益計	0	53,000	165,000	55,000	273,000
(2) 經常費用					
①事業費	0	53,000	165,000	55,000	273,000
事業費	0	52,800	161,430	53,034	267,264
事業費繰入金	0				0
会場設営費	0			35,000	35,000
企画・演出費	0		160,000	15,000	175,000
本部団設営費	0				0
講師関係費	0				0
広報費	0				0
資料作成費	0	51,700			51,700
報告書作成費	0				0
懇親会費	0				0
渉外費	0				0
旅費交通費	0				0
参加記念品代	0				0
保険料	0				0
通信費	0			504	504
販売物品仕入	0				0
預り金	0				0
雑費	0	1,100	1,430	2,530	5,060
委員会運営費	0				0
事業予備費	0	200	3,570	1,966	5,736
収支差額	0	0	0	0	0

公益社団法人二本松青年会議所 福幸祭特別委員会

副理事長 新野 成輝

委員長 桑原 実寛

<p>現状分析</p>	<p>福幸祭は二本松青年会議所で行っている事業で一番規模が大きく、多くの市民・市外に発信ができる貴重な事業であります。来場が多く見込まれる福幸祭で我々が行っている J C 運動活動を伝播し、二本松少年隊の顕彰と郷土愛に溢れた事業を行う必要があります。また、国連が定め、日本青年会議所も推進している S D G s の認知と実践を市民に促すため、S D G s を多く取り入れた事業を行います。</p>
<p>目指すべき目的</p>	<p>①福幸祭を開催し、二本松青年会議所の J C 運動活動の認知と発信を行い、市民と市外の参加者に理解を深めさせる。                  ②地域の関係各所・団体と連携し、福幸祭の推進を行う。                  ③戊辰戦争で尊い犠牲となった二本松少年隊の顕彰を行い、対外的に伝播させる。                  ④二本松青年会議所メンバーの資質向上を行い、組織の強化を行う。                  ⑤福幸祭の成功に向けメンバー全員で行動するため、結束を促す。                  ⑥S D G s の理解を深め、実践していくことで 2030 年目標達成へ繋げる。</p>
<p>概要</p>	<p>①福幸祭の開催⇒福幸祭を多くの市民・各種団体ともに実施・発信し、理解を深めます。また福幸祭、終盤では花火の打上げを行います。                  ②実行委員会による福幸祭の推進                  二本松 D M O や関係各所と連携を行い、福幸祭の推進を図ります。                  ③二本松少年隊の顕彰⇒福幸祭のファンクションで二本松少年隊の顕彰を行うことで戊辰戦争への理解を深め、郷土愛に溢れた明るい二本松への創造を図ります。                  ④4月例会の実施⇒会員の J C としての意識向上とスキルアップを図るための例会を行い、J C 運動活動への意欲向上を図ります。                  ⑤10月例会の実施⇒福幸祭を成功させるため、開催直前にメンバー全員で情報共有や確認をする場を設けます。                  ⑥S D G s の推進⇒S D G s を発信する場としてブース設置をし、参加いただいた来場者が S D G s を理解し自ら行動していくことで目標達成への足掛かりとします。</p>
<p>SDG s</p>	<p>【4、7、11、15、17】</p>
<p>事業手法</p>	<p>①福幸祭の実施                  2019年参加計画総数8032人 結果総数8024人 ※2020年開催せず                  2021年参加計画総数2000人 コロナ禍を受け、参加推進対象を絞り込む                  ②実行委員会による福幸祭の推進                  S D G s をメインに各種団体と共に、福幸祭の推進を行います。                  ③二本松少年隊の顕彰⇒ステージ発表で顕彰を行っている団体の公演ブース出展を行うことで二本松少年隊を学ぶ機会をつくる。                  ④4月例会の実施⇒J C 運動活動の寄与する講師例会を行い、グループワーク等も入れ会員同士の意識共有、スキルアップに繋げる。                  ⑤10月例会の実施⇒福幸祭に向けての例会を行い、当日の概要や役割を認識し、大成功へ向けて共有と意識向上に繋げる。</p>

	⑥SDGsの推進⇒飲食ブースはプラ製品基本禁止 バイオマス袋は可
	SDGsを理解してもらえよう学べるブースを出す。
パートナー	二本松市役所、二本松市内各種団体
	二本松DMO
	市内各企業

公益社団法人二本松青年会議所 2021年度 福幸祭特別委員会予算書 内訳表  
2021年1月1日より2021年12月31日まで

事業名 科目名	公益事業		その他の事業		
	1	小計	1	2	小計
	福幸祭		4月例会	10月例会	
④事業収益	3,060,000	3,060,000	6,700	0	6,700
事業繰入収益	60,000	60,000	6,700	0	6,700
登録料収益	0	0	0	0	0
懇親会費収益	0	0	0	0	0
広告料収益	3,000,000	3,000,000	0	0	0
販売収益	0	0	0	0	0
預り金収益	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0
⑤受取補助金等	555,000	555,000	0	0	0
国庫補助金	0	0	0	0	0
地方公共団体補助金	400,000	400,000	0	0	0
県サポート事業補助金	0	0	0	0	0
OB会補助金	0	0	0	0	0
二本松少年隊顕彰会補助金	155,000	155,000	0	0	0
補助金等交付業務受託金	0	0	0	0	0
国庫助成金	0	0	0	0	0
地方公共団体助成金	0	0	0	0	0
民間助成金	0	0	0	0	0
⑥受取負担金	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0
⑦受取寄付金	500,000	500,000	0	0	0
受取寄付金	500,000	500,000	0	0	0
受取募金	0	0	0	0	0
⑧雑収益	0	0	0	0	0
受取利息収益	0	0	0	0	0
その他雑収益	0	0	0	0	0
經常収益計	4,115,000	4,115,000	6,700	0	6,700
(2) 經常費用					
①事業費	4,115,000	4,115,000	6,700	0	6,700
事業費	3,910,000	3,910,000	6,350	0	6,350
事業費繰入金		0			0
会場設営費	1,300,000	1,300,000	0	0	0
企画・演出費	1,660,000	1,660,000	3,300	0	3,300
本部団設営費	0	0	0	0	0
講師関係費	0	0	2,500	0	2,500
広報費	420,000	420,000	0	0	0
資料作成費	340,000	340,000	0	0	0
報告書作成費	0	0	0	0	0
懇親会費	0	0	0	0	0
渉外費	65,000	65,000	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0	0
参加記念品代	0	0	0	0	0
保険料	5,000	5,000	0	0	0
通信費	60,000	60,000	0	0	0
販売物品仕入	0	0	0	0	0
預り金	0	0	0	0	0
雑費	60,000	60,000	550	0	550
委員会運営費	0	0	0	0	0
事業予備費	205,000	205,000	350	0	350
収支差額	0	0	0	0	0

公益社団法人二本松青年会議所 ブロック大会準備特別委員会

副理事長 三津間 勇夫

委員長 深谷 勇人

<p>現状分析</p>	<p>2022年福島ブロック協議会最大の運動の発信の場でもあるブロック大会が、二本松で開催されるという事で前年度から改善点や改良点問等の対策を練り、スムーズにブロック大会を運営できるようにしなくてはなりません。 そして、以前に地区フォーラムを主管した時よりもブラッシュアップしたものを各LOMや地域の人たちに我々の運動を効果的に発信する場にします。</p>
<p>目指すべき目的</p>	<p>①開催当該年度が大会をスムーズに運営できるような状態。 ②LOM会員同士が情報の共有をし、協力体制を整える状態。 ③地区フォーラムを上回るような企画・演出の検討、また、大会の方向性を定められている状態。 ④2022年度のブロック大会に対する情報の共有を共有する状態。</p>
<p>概要</p>	<p>①2022年度大会理念・シンボルマークの作成 多くの会員、市民、各種団体を巻き込む大会となるよう、大会理念とシンボルマークを前年度から作成をし、大会の方向性を定めることによりメンバーのブロック大会に対する意識の向上を促します。 ②2022年PR動画の作成 大会旗伝達式の際に次年度開催地候補地として二本松のPR動画を作成し、多くの会員に来ていただけるような動画を作成致します。 ③ブロック大会に向けた準備 事前に改良点や改善点を追求し、大会に挑むための準備をすることで、大会の開催がスムーズに運営できるように致します。 ④2022年度のブロック大会に対する情報の共有を共有する状態。 2022年度ブロック大会の大会理念・シンボルマークの発表と大会の方向性を会員同士が共有できるように致します。</p>
<p>SDGs</p>	<p>【17】</p>
<p>事業手法</p>	<p>①2022年度大会理念・シンボルマークの作成 過去5年間の大会理念・シンボルマークを収集し、委員会や業者を踏まえて話し合いを通して作成致します。 ②2022年PR動画の作成 地区フォーラムでのPR動画を参考に、県内18LOM会員が二本松に行きたくなるような二本松の特色を最大限に活かした動画を業者を踏まえて作成致します。 ③ブロック大会に向けた準備 観光地でもある岳温泉や宿泊先の確保、会場の選定等を行います。 また、二本松市や各種団体との協力体制の締結の話し合いの場を設けます。 ④2022年度のブロック大会に対する情報の共有を共有する状態。 11月時点での当委員会で決まった情報や2022年度への方向性をメンバーと共に共有することでLOM内での協力体制を強化します。</p>
<p>パートナー</p>	<p>福島ブロック協議会 二本松市 各種団体</p>

公益社団法人二本松青年会議所 2021年度 ブロック大会準備特別委員会予算書 内訳表  
2021年1月1日より2021年12月31日まで

事業名 科目名	公益事業		その他の事業		
	1	小計	1	2	小計
	ブロック大会 PR動画作成 事業		大会理念・シ ンボルマーク 作成事業	11月例会	
④事業収益	140,000	140,000	11,000	0	11,000
事業繰入収益	140,000	140,000	11,000	0	11,000
登録料収益		0			0
懇親会費収益		0			0
広告料収益		0			0
販売収益		0			0
預り金収益		0			0
雑収益		0			0
⑤受取補助金等	0	0	0	0	0
国庫補助金		0			0
地方公共団体補助金		0			0
県サポート事業補助金		0			0
OB会補助金		0			0
二本松少年隊顕彰会補助金		0			0
補助金等交付業務受託金		0			0
国庫助成金		0			0
地方公共団体助成金		0			0
民間助成金		0			0
⑥受取負担金	0	0	0	0	0
受取負担金		0			0
⑦受取寄付金	0	0	0	0	0
受取寄付金		0			0
受取募金		0			0
⑧雑収益	0	0	0	0	0
受取利息収益		0			0
その他雑収益		0			0
經常収益計	140,000	140,000	11,000	0	11,000
(2) 經常費用					
①事業費	140,000	140,000	11,000	0	11,000
事業費	138,310	138,310	10,550	0	10,550
事業費繰入金		0			0
会場設営費		0			0
企画・演出費	136,000	136,000	10,000	0	10,000
本部団設営費		0			0
講師関係費		0			0
広報費		0			0
資料作成費		0			0
報告書作成費		0			0
懇親会費		0			0
渉外費		0			0
旅費交通費		0			0
参加記念品代		0			0
保険料		0			0
通信費		0			0
販売物品仕入		0			0
預り金		0			0
雑費	2,310	2,310	550		550
委員会運営費		0			0
事業予備費	1,690	1,690	450	0	450
収支差額	0	0	0	0	0



# 公益社団法人二本松青年会議所 2021年度 組織図

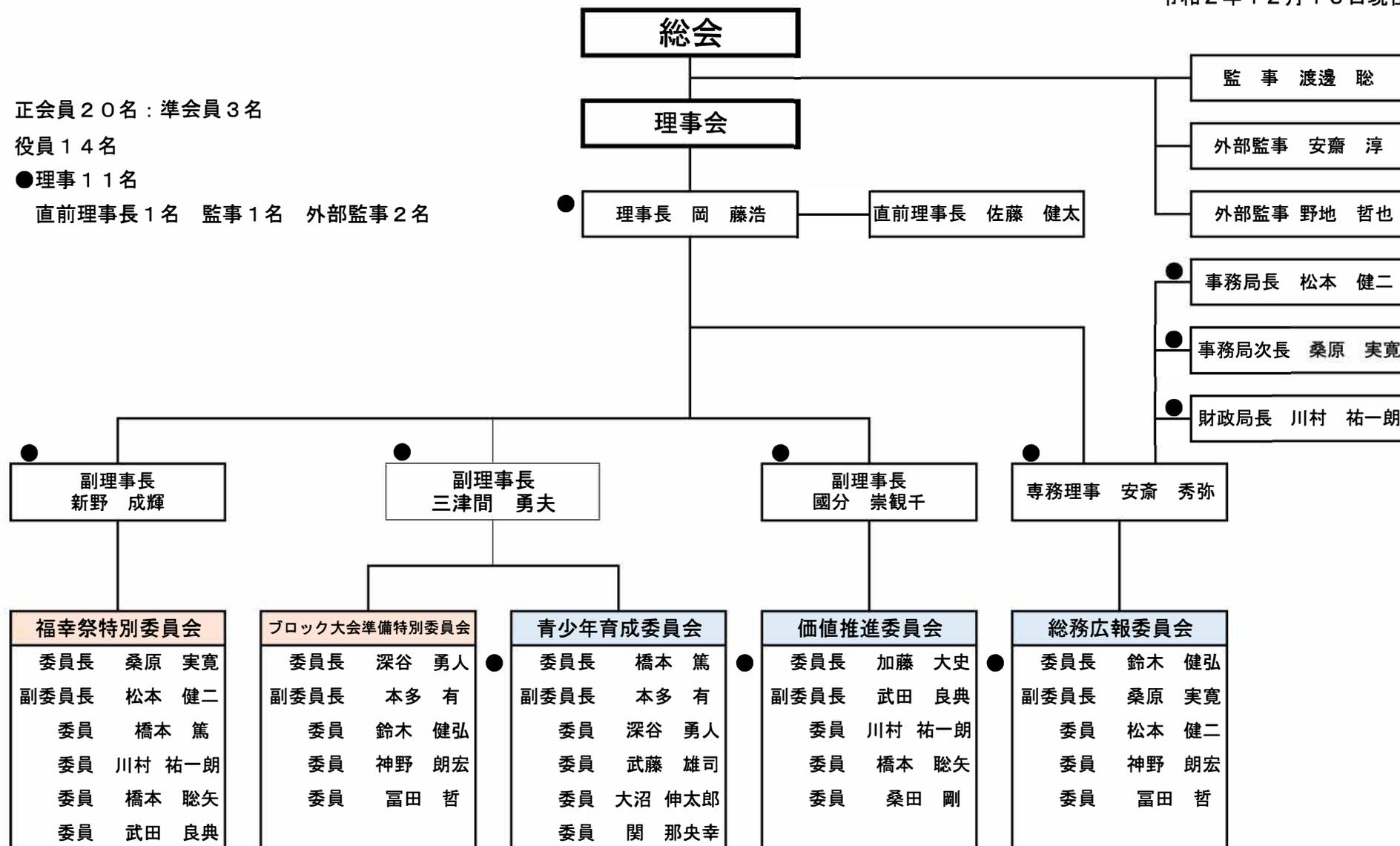
令和2年12月15日現在

正会員20名：準会員3名

役員14名

●理事11名

直前理事長1名 監事1名 外部監事2名



公益社団法人二本松青年会議所 2021年度 災害発生臨時組織図

